

眠そうな子供に指導者の長話は？

——朝のつどいの目的と指導者の話——

公益財団法人育てる会 会長 青木 孝安

●一人の指導者からの質問

朝のつどいをやる目的について知りたいです。自分が留學生の時は朝早く起きて、まだ眠い時間に自然の話を長く聞くのはつらかったです。朝のつどいの目的、理想の形について知りたいです。

主任に相談したところ、「指導者の話は全部の子供でなくても、何人かの子供が聞いてくれればいいのでは」とのことです。朝六時に起きた眠そうな子供に真面目な自然の話をして、はたして子供たちは本当に聞いているのだろうかと疑問に思います。

○提言——このように考えたらどうでしょうか

体験に基づいた率直な質問で大歓迎です。長い歴史のある団体の場合、とかく指導が

マンネリになりやすいです。このように、原点をただ姿勢こそ大切と思います。

さて、質問の件ですが、育てる会では野外活動の場合、朝のつどいを大切にしてきました。朝のつどいの目的と内容について、私の考えを、体験をまじえて書きます。参考にしてください。

朝のつどいで大切なことは、モーニングエクステンション（適当な日本語がない）と言って子供たちの心と体の健康状態を観察することです。子供たちが集まって来る時の動きの様子、顔の色、体操の際の手足の動かし方、指導者の話の聞き方などをよく観察することです。元気のなさそうな子供の肩に触れて、「元気がないね、大丈夫かい」などと聞くことにより、よしんば、その子供に異常がなくても、周囲の子供を含めて、この指導者は自分たちをよく見ていくのだという安心感をもたらします。モーニングエクステンションは、指導の基本中の基本です。人数の多い場合は、特に気配りが大切です。

それから、起床して、布団をたたみ、洗顔し、外に出て体操をするという行動により、自律神経（交感神経と副交感神経）を、睡眠状態から活動状態へ変えることになるのだそうです。このことと関係があるかどうかわかりませんが、朝、起床してすぐ食事をする場合と、体操などをして、四十分ほど体を動かした後、食事をする場合では、食べる食事の量に違いがあることはわかっています。

では次に、育てる会が最も大切にしている、朝のつどいで、指導者がする、自然に関する話のことに述べましょう。

子供が人間として成長するには、その成長期に、是非体験させておきたい自然との接触体験の領域があり、それは、その時期を外しては、二度と得られない体験領域なのだと思います。このことは、何人かの学者から教わったことです。確かに、自然というものは、四季を通じて、常に、膨大な情報を発しています。子供たちの体内に、自然の情報を感知する力を養う必要があると思います。朝のつどいでの指導者の話は、それを目的にしたいと思います。

朝の指導者の話は三十秒から六十秒で十分、長すぎは不要

初歩的な段階として、五感を通して感じる感知力を養うことでしよう。五感とは、視覚、聴覚、触覚、臭覚、味覚のことです。自然の情報を五感で感じることに目覚めさせ、その感知力を養うことが、朝のつどいの目的と思うのです。都市化社会に育った子供（特にゲームにひた切り切った子供には）、この感知力がかなり劣化しています。この傾向は年々ひどくなりつつあるように思います。

「今朝は寒いね、温度は何度、係の者、発表して」、「耳を澄ましてごらん、あの音、聞こえる？ あれがヒガラの鳴き声だよ」、「今、啼いている野鳥、こんな姿だよ（絵を見せる）」、「十一月頃の朝の会の時は暗かったのに、今、三月になったら明るいのは、なぜだと思う」、「あの山を見てごらん、太陽の出る位置が変わったね」、「太陽が出てゐるのに、月も出ているよ、どうしてかな」、「こんな花が咲いていたよ。今、どんな花が咲いているか通学路で探してごらん」、「この草の葉、指でつぶして、匂いを嗅いでごらん」

「」などなど、話の種は無限です。

指導者はこんな言葉がけと多少の解説をして、子供たちの興味を自然に向けさせたらどうでしょうか。長話は不要です。

指導者こそ自然の情報の「感知力」を身に付けてほしい

朝の指導者の語りによって、子供たちの目が輝くかどうか決め手です。このためには、指導者自身が、子供より敏感に自然を感知する「感知力」を持つ必要があります。指導者が感知した自然の情報が子供たちのそれと一致すれば、子供たちの目は輝くでしょう。

率直に言って、皆さんの世代は、自然をあまり学ばずに育った人が多いように思います。ですから、いきなり、朝、子供たちの前に立って、自然の話をしなさいと言っても、無理かもしれませんね。ですから、何をおいても、まず、指導者が自然の情報を敏感に感知する力をつける必要がありますね。五年ほど体験を積むと、何とか立派な指導ができるようになるでしょう。努力してください。

今回の質問は一人の指導者から出されたものです。私はこの質問により、朝のつどいのことを、再度深く考えることができました。皆さん、このように、今行っている活動の原点を、もう一度考え直してみませんか。それが、指導に活力を生むと思うのです。